

聖霊に満たされた教会 - 使徒の働き 1:1-11

皆さんは Cholteca 橋をご存知でしょうか。
中米のホンジュラス全土で最も優れた建造物の一つです。幅の広い Cholteca 川に架かり、長持ちし、最悪のハリケーンにも耐えられるように造られています。
1998 年のハリケーン・ミッチは、4 日間で 2 メートルの雨をもたらし、橋に降り注ぎました。その雨で、ホンジュラスの 150 の橋は破壊されました。しかし Cholteca 橋はしっかりと立っていて、その姿はとても荘厳な印象がありました。

しかしハリケーンの後、2 つの問題が発生しました。ひとつは、嵐によって橋の両側の道路が完全に流されたこと、もうひとつは、川の流れが変わって橋の下を水が流れなくなったことでした。

強大な Cholteca 橋は、（両側の道が流されてしまったので）どこにも行くことができない橋となりました。とても印象的な橋ですが、完全に役に立たなくなったのです！

牧師である私にとって、この橋は地方教会への警告として立っています：私たちがいかに使命を忘れ、すでに教会に来ている人々に全力を注いでいるか、という警告です。その一方では、この世は教会を訪れようとせず、愛されず、忘れ去られているという警告です。

使徒の働きに登場する教会とはなんと対照的でしょうか。120 人の迷っている人々がエルサレムの一室に閉じこもることから始まった教会のことです。しかし、それは一世代で既知の世界を変える運動となりました。どうやって？注がれた聖霊の力によってです。

使徒の働きのそれぞれの部分は、同じような終わり方をしています：

6:7 - お読みします。「こうして神のことばは、ますます広まって行き、エルサレムで、弟子の数が非常にふえて行った。そして、多くの祭司たちが次々に信仰にはいった。」

9:31 - お読みします。「こうして教会は、…平安を保ち、主を恐れかしこみ、聖霊に励まされて前進し続けたので、信者の数がふえて行った。」

12:24 - お読みします。「主のみことばは、ますます盛んになり、広まって行った（多くの新しい信者がいた）。」

16:5 - お読みします。「こうして諸教会は、その信仰を強められ、日ごとに人数を増して行った。」

19:20 - お読みします。「こうして、主のことばは驚くほど広まり、ますます力強くなって行った。」

最後にローマで…28:31 「（パウロは）大胆に、少しも妨げられることなく、神の国を宣べ伝え、主イエス・キリストのことを教えた。」

ですから、イエスの福音は単なる考えではなく、力なのです！そして、それが解放される時、それは成長し、広がり、増大します！

それが使徒の働きの中で起こっていることです。福音は、ユダヤ人世界の中心であるエルサレムから、異邦人世界の中心であるローマへと広がっていきます。しかしそれは、ミッションに集中し、聖霊に満たされた教会の証しによって起こります。聖霊は…

教会への神の賜物 1:4-5 -お読みします。

「4 彼らと一しょにいるとき、イエスは彼らにこう命じられた。『エルサレムを離れな
いで、わたしから聞いた父の約束を待ちなさい。5 ヨハネは水でバプテスマを受けたが、
もう間もなく、あなたがたは聖霊のバプテスマを受けるからです。』」

何世紀もの間、神はご自身の民に御霊を注ぐと約束され、イエスはその約束が成就しよう
としていると言われていました。

それは力強いイメージです：あなたたちは（共に）洗礼を受け、聖霊を注がれ、聖霊に満
たされます。

神の御業におけるまったく新しい時代が幕を開けようとしています：聖霊の時代です。聖
霊は「それ」でも「力」でもなく、力ある人格ある方です。聖霊は、神の民の間、神の民
の中に生きておられる存在なのです。

その約束は、聖霊が力強い風と聖なる火をもって教会に臨まれたペンテコステの日に成就
しました（2章）。

聖霊に満たされた信者たちは、エルサレムに集まった国々の人々にもメッセージが理解で
きるように、習ったことのない言語で神の賛美を語り始めました。

一日で、3000 人の人がイエスを信じました。

これは驚くべきことではありません。イエスが言われた通りなのです。 - お読みします。

1:8 「しかし、聖霊があなたがたの上に臨まれるとき、あなたがたは力を受けます。そし
て、エルサレム、ユダヤとサマリヤの全土、および地の果てにまで、わたしの証人となり
ます。」

しかし、私たちはそのつながりを理解しなければなりません。：聖霊は宣教のために私
たちを満たしてください。

御霊の力のない宣教は実を結ばず、疲れるだけです！私たちを満たしてくださる御霊が必
要なのです。しかし、宣教を伴わない御霊の経験は目的を見失います！

主は、ミッションのために私たちを溢れんばかりに満たしてください。初期の弟子た
ちがそうであったように、私たちがイエスの賛美で全地を満たすまで！

聖霊：ペンテコステの日に教会にくださった神からの賜物 神がいつでも下さるギフト：
それは、父と子から絶え間なく湧き出る、生ける水とさわやかな恵みです。

だから、聖霊が教会に与えられたからこそ、私たちはますます聖霊の臨在と力を求め、心
を開き、人生を開いて、「聖霊よ、来てください」と祈るのです！今日来てください！私
たちを再び満たすために来てください。…のための神の贈り物

教会に対する神のミッション(1:6-8)

6 節をお読みします- 「そこで、彼らは、一しょに集まったとき、イエスにこう尋ねた。
『主よ。今こそ、イスラエルのために国を再興してくださるのですか。』」。弟子たちの
質問は誤解に満ちています。

彼らはイエスが自分たちの味方でいてくれること、自分たちの民族的アイデンティティを
肯定してくれること、ローマ人を打ち負かすことで自分たちに安全と独立を与えてくれる
ことを望んでいます。

しかしイエスは7 節で、そのようなことは神の手に委ねなければならないと彼らに告げま
す。彼らの任務は、イエスがなさるのを見たこと、イエスが言われるのを聞いたことを語
る証人になることです。 - 8 節をお読みします- 「しかし、聖霊があなたがたの上に臨まれ
るとき、あなたがたは力を受けます。そして、エルサレム、ユダヤとサマリヤの全土、お

よび地の果てにまで、わたしの証人となります。」

そして私たちも証人です：彼らが見て、そして聞いたことの真実の証人であり、イエスのメッセージが機能することが事実であることの証人です。なぜなら、私たちは生活の中でイエスの力を見てきたからです！

私たちの教会では、人々がキリスト教信仰を探求するのを助けるためにアルファ・コースを運営しており、人々の人生が変わっていくのを見るのはとても素晴らしいことです。私は先月、このコースの最終セッションに参加し、レノックスの隣に座りました。彼はクリスチャンになったばかりで、イエスが彼の薬物依存を即座に断ち切ったことを話してくれました！

ある人は、このコースで福音をはっきりと理解することができ、一緒にいた女性と結婚する必要があることに気づかされたと言いました。その夜、クリスチャンになった人もいました！福音は働くのです！そして、私たちはその事実の証人です！

そして、そのことは、私たちがクリスチャンになった時に止まりません：それは、ただ始まりに過ぎません！イエスは私たちの苦難を共に歩み、喜びも分かち合ってくださいます。そして私たちもまた、その継続的な物語を語ります！
私たちは証人です。唯一の問題は、黙っている悪い証人なのか、それとも聞かれる良い証人なのかということです。
行うことです！

使徒の働きでは、証しする教会のミッションが新しい共同体に入り続けていたことを強調しています：それは境界を越えたミッションでした。コルネリウスは最初の異邦人改宗者であり、彼の物語は3回語られています！

パウロは異邦人への使徒であり、彼の回心が3回語られています！そして、福音がユダヤ世界からサマリアへ、そして異邦人へと新たな境界を越えるとき、3度にわたって特別な御霊の注ぎがあります。

そのメッセージはこれ以上ないほど明確です：イエスの福音は私のような人間のためだけのものではないのです：すべての人のためのものだから、境界を越えるのです。そして私たちの使命において、私たちは福音によって文化、年齢、教育、貧富の境界を越えるよう召されています。私たちは、福音を自分たちの文化的アイデンティティや嗜好に限定しないよう、適応し、変化するよう求められています。神が全世界を愛しておられるからです。それが私たちのミッションです。

しかし、危険なのは、そのミッションを見失い、自分自身のことだけに集中してしまうことです。そうすれば、私たちはあの Cholteca 橋のようになってしまいます。（橋はあるけれど、橋につながる道のない）どこにもいくことのできないつり橋-強い印象を与えませんが、役に立ちません。

しかし、もし私たちがそのミッションをつかみ、それを自分のものとし、イエスの愛と真理によって周囲の境界を越えていくなら、このミッションこそが最も爽快で、満足のいく生きる目的であることに気づくでしょう！

教会に対する神の命令（1:9 - お読みしません）

私たちのミッションのための命令は何でしょうか？結局のところ、すべての人がメッセージを聞きたいと思っているわけではないのです。しかし、私たちにこのミッションを与えてくださるイエスは（8節）、すぐに権威のある場所である天に召されます（9節、お読みします-「こう言ってから、イエスは彼らが見ている間に上げられ、雲に包まれて、見えなくなられた。」）。

これは、マタイ 28：18 でイエスが言われます。「わたしには天においても、地においても、いっさいの権威が与えられています。」

初期のクリスチャンたちは、その宣教がしばしば反対されたので、この使命を忘れてはいけなかったのです。そして、彼らは弱く、疎外されていましたが、神の霊に満たされていたため、最終的には止められなかったのです。

だから、彼らはエルサレムで証しし、また迫害によって追い出された先々で証しし（使徒の働き 8 章）、地中海世界全域で証しし、イエスのために世界を変えました。

教会への神の約束(10-11 - お読みします)

「10 イエスが上って行かれるとき、弟子たちは天を見つめていた。すると、見よ、白い衣を着た人がふたり、彼らのそばに立っていた。11 そして、こう言った。『ガリラヤの人たち。なぜ天を見上げて立っているのですか。あなたがたを離れて天に上げられたこのイエスは、天に上って行かれるのをあなたがたが見たときと同じ有様で、またおいでになります』。」

天から地へと下って来られたイエスは、今、地から天へと昇られます。しかし、約束されているのは、天から地へと戻られるということであり、来られるときには、天（神の故郷）を携えて来られるということです。

黙示録 21:3 はその瞬間をこう描写しています：「見よ。神の幕屋が人とともにある。」
そうして、私たちのミッションは完成します。神の家は全地を満たし、新しい創造の中にあらゆる国の人々を集め、一つにします！聖書は、私たちの魂が天に浮かんで行くことで終わるのではなく、天が地上に来てすべてを新しくすることで終わります。- 私たちも含んでいます。帰ってくるキリストに会うためによみがえり、キリストの新しい創造の中でキリストとともに支配し、キリストの家を永遠に分ち合うために。

しかし最後に、天使の質問の衝撃を感じましょう。11 節をも一度お読みします。なぜ天を見上げて立っているのですか。

クリスチャンは、別の世界に集中するあまり、この世でのミッションに集中できなくなるようなことがあってはなりません；教会は何もないところから何もないところへの架け橋にはなりません；荘厳な印象はありますが、役に立ちません。

しかし、イエスが戻ってこられるので、私たちにはすべきことがあります。あらゆる障壁を越え、あらゆる障害を飛び越え、イエスの愛があらゆる地域社会で、あらゆる国で見られ、イエスの真理が聞かれるようにし、世界がイエスの再臨に備えられるようにするのです。

では、皆さんのお尋ねしますが、あなたの反応はいかがでしょう？ミッションの傍観者となり、雲を見つめて、誰かがやってくれるだろうと期待し、教会が自分の面倒を見てくれるだけでいいと思っているのでしょうか？

それとも、復活したキリストの呼びかけに耳を傾け、その聖霊の新鮮な満たしに自分の人生を開き、神のミッションを自分の使命とし、聖霊に満たされた、使命に焦点を当てた教会を築く一翼を担うつもりでいますか？